

院長にインタビュー

院長
きく ち けん いち
菊池 謙一 先生

「患者様の笑顔がたくさん見られるように、日々精進していきたい」

「医療法人社団 一心会 きくち歯科クリニック」は、2009年に神奈川県厚木市で開院されたクリニック。院長である菊池謙一先生は、患者様の立場に立った治療を大切にされ、患者様の身体に負担をかけない、よりよい医療を提供されています。また、国際口腔インプラント学会の指導医でもあり、インプラント治療におけるスペシャリストです。今回はそんな菊池先生に気になるインプラントのことやクリニックのことなどについてお伺いしました。

インプラント治療は 人の人生をも左右する治療法 だと確信

—— まずはいきなりですが、菊池先生が考えるインプラントの最大のメリットとは何でしょうか？

私の考えるインプラント治療の最大のメリットは、**天然歯と同様に噛めるということと、歯を失わないようにするための予防治療であるということです。**

入れ歯やブリッジは保険適用で費用を抑えられる治療法ですが、失った歯の代わりにはなりません。インプラント治療は保険適用外ですが、入れ歯のバネが



かかった歯やブリッジの土台に使用する歯が抜けていってしまうのを、インプラント治療でしたら防ぐことができます。

—— インプラントは、土台がいらないので自分の歯を守る予防効果もあるんですね。
では、実際にインプラントにされた方のお声はいかがでしょう？

患者様からは「**食事が楽しめる、笑顔が増えた**」とお褒めの言葉をいただくことが多いです。ある患者様から「**インプラント治療を受けて人生が変わった**」という言葉頂いたときは、私自身、インプラント治療は人の人生をも左右する素晴らしい治療法であると確信しました。

—— インプラントをすることによって前向きに人生を歩めるなんて素敵なことですね！
しかし、インプラントは「何となく怖い」というイメージを持つ方も多いと思いますが、実際のところどうでしょう？

例えばインプラント1本埋入するのに、15分程度



しか掛かりません。
「思っていたより手術が早く終わった」、「思っていたより痛くない」と皆さんおっしゃいます。

それでも怖いという方や基礎疾患のある方には、**静脈内鎮静法を併用することにより、眠っている間に手術を進めることができますので、お勧めしたい治療方法です。**

手法によって、体に負担の少ない 短時間での手術が可能

—— 怖くて治療を断念していた方にとっては朗報ですね。
ところで、菊池先生は常に進化するインプラントの技術、知識をどのように習得されておられますか？

国内、海外問わず学会へ積極的に参加し、新しい技術の習得に励んでいます。
学んだ内容を持ち帰り、他の先生や歯科衛生士と情報共有して、患者様に最新の技術を提供出来る様に日々研鑽に努めております。

—— それでは、患者様とコミュニケーションをとる上で心掛けている点はどういうところでしょうか？

患者様のお話をしっかりお聴きするようにしています。患者様のお口の中の悩み、コンプレックスや不安なことはもちろんですが、どのような背景で歯を失くされたのか、インプラントをして歯が入ったらどのようなことをしたいのか等を、カウンセリング時に丁寧に聴かせて頂いてから治療に進んでおります。

—— 治療後の未来の話まで聞いていただけたら、治療が進むのも楽しみになりそうです。
それでは菊池先生、ずばり！クリニックの強みはどこ

でしょうか？

当クリニックではインプラント治療にあたる際、まず**理想的な補綴物の位置を術前にしっかり診断し、インプラント埋入を行なっているところ**です。

インプラント治療は、どこに歯を入れるかがとても重要になりますので、100%、ガイドットサージェリー※を行っております。この手法により、体に負担の少ない短時間での手術が可能となります。

※CTスキャナで撮影した画像データを元に、コンピューター上でインプラント手術のシミュレーションを行なうことで正確な治療計画を立て、その治療計画通りに行われる手術のこと

—— まったく話は変わるのですが…。
ご多忙だとは思いますが、休日はどのように過ごされていますか？

休日は研修に参加することが多いですが、時間がある時は子ども達と遊んだり、出かけたり、家族サービスがメインですね。
その他は、体力維持のためにジムに行って体を動かすようにしております。

—— それでは、最後によろしいですか。
菊池先生にとってこの仕事の喜びとは何でしょうか？

治療が完了した際に患者様の笑顔を見ることが出来た時は、非常に嬉しく思います。
患者様の人生を瞬く間に変えることが出来るインプラント治療は、本当に素晴らしい治療だと思います。これからも患者様の笑顔がたくさん見られるように、日々精進していきたいと思います。

